

日本ボンド磁性材料協会：JABM 主催
2022BM シンポジウムプログラム
「パワーエレクトロニクス用磁気デバイスの展望と
希土類磁石の最新開発動向」

脅威の COVID-19 の感染状況が少し落ち着いてきましたが、もう少し様子を見るということで、今回のシンポジウムも Online で行います。

脱炭素社会の実現に向け、世界では「脱ガソリン車・ディーゼル車」を掲げて、電気自動車（xEV）へのシフトが始まっています。そのために重要なパワーエレクトロニクス技術や新磁石材料開発などは磁性材料に携わる方々にとって大きなテーマとなります。今回は、パワーエレクトロニクス用磁気デバイスの展望と希土類磁石の最新開発動向についてご紹介頂くことになりました。貴重なチャンスですのでより多くの皆様のご参加をお願いします。

日 時：2022 年 12 月 2 日（金） 12：55 ～ 17：20（開場 12：00）

場 所：ZOOM 上

参加費：会員 5,000 円、一般 12,000 円、学生 2,000 円（講演要旨集代含む）

申込等：次の URL でお申込みください。

URL <https://www.jabm03.com/event/2022symposium/>

または、日本ボンド磁性材料協会事務局（大森賢次）までご連絡ください

e-mail: info@jabm03.com Tel: 03-5811-6891 Fax: 03-5811-6892

Online での会になります。これまで通り参加者は一人ずつお申し込み下さい。その際、

会議参加時に e-mail による入室許可が必要となりますので、

参加者の e-mail アドレスの入力をお願いします。

また、参加申込みされた方々が一回線で一緒に聴講することは可能ですが、その場合、

責任者を決めた上で、参加者全員のお名前をご連絡下さい。

なお、要旨集はレターパックライトで郵送する予定です。

申し込み時には住所等を間違いなく記入して下さい。

（無記入または誤記入の場合は要旨集を送付できませんのでご注意ください）

プログラム （講演時間には質疑応答時間 5 分程度を含みます）

総合進行 JABM 技術委員長（東英工業㈱）

林 裕希

12:55-13:00 開会挨拶 JABM 会長（森本技術コンサルティング）

森本 耕一郎

1	13:00-13:40	パワーエレクトロニクスから見た磁気デバイスの役割と期待 東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センター 准教授	加藤 修治
2	13:40-14:20	革新的パワーエレクトロニクスに向けた磁性材料および磁性デバイス開発 東北大学 多元物質科学研究所 教授	岡本 聡
3	14:20-14:30	休憩	
4	14:30-15:10	Update of Magnequench (株) マグネクエンチジャパン 代表取締役社長	余田 賢一
5	15:10-15:50	Sm-Fe-N 系磁石の磁気特性向上と微細組織変化 東北大学 工学研究科 講師 東北大学 工学研究科 教授	松浦 昌志 杉本 諭
6	15:50-16:00	休憩	
7	16:00-16:40	高 Fe 濃度希土類磁石微粒子の合成と磁気特性 京都大学 化学研究所 教授	寺西 利治
8	16:40-17:20	SmFe₁₂ 系磁石の可能性と課題 物質・材料研究機構 理事長	宝野 和博

アンケートによれば質疑応答時間を多めにとつて欲しいという要望があります。質疑応答時間を5分以上取つて頂くよう講師にはお願いしますが、講演時間を延長する可能性がありますのでご了解ください。

The Japan Association of Bonded Magnetic Materials
2022BM Symposium Agenda
Dec 2, Friday, 2022, 12:55-17:20
at ZOOM

(The language used in the presentation is Japanese)

Registration

Fees : Member 5,000 yen Non-Member 12,000 yen Student 2,000 yen
(proceedings are included)

Please contact JABM by e-mail or FAX !

e-mail: info@jabm03.com, Tel: +81-3-5811-6891, Fax: +81-3-5811-6892,

- 12:55 Welcome Koichiro MORIMOTO, Chairman of JABM
- 13:00 **[Roles and Expectations of Magnetic Devices in Power electronics]**
Shuji KATOH, Center for Innovative Integrated Electronic Systems, Tohoku University
- 13:40 **[Magnetic materials and devices for innovative power electronics]**
Satoshi OKAMOTO, Professor, Institute of Multidisciplinary Research for Advanced Materials,
Tohoku University
- 14:20 **Break**
- 14:30 **[Update of Magnequench]**
Kenichi YODEN, President, Magnequench Japan Inc.
- 15:10 **[Improvement of magnetic properties and investigation of microstructural changes of Sm-Fe-N magnets]**
Masashi MATSUURA, Lecturer & Satoshi SUGIMOTO, Professor,
Graduate School of Engineering, Tohoku University
- 15:50 **Break**
- 16:00 **[Synthesis and magnetic properties of rare-earth magnet particles with high Fe contents]**
Toshiharu TERANISHI, Professor, Institute for Chemical Research, Kyoto University
- 16:40 **[Possibilities and challenges of SmFe₁₂-based magnets]**
Kazuhiro HONO, President, National Institute for Materials Science